

病害動物学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Kasai S, Caputo B, Tsunoda T, Cuong TC, Maekawa Y, Lam-Phua SG, Pichler V, Itokawa K, Murota K, Komagata O, Yoshida C, Chung HH, Bellini R, Tsuda Y, Teng HJ, Filho JLL, Alves LC, Ng LC, Minakawa N, Yen NT, Phong TV, Sawabe K, Tomita T. First detection of a Vssc allele V1016G conferring a high level of insecticide resistance in *Aedes albopictus* collected from Europe (Italy) and Asia (Vietnam), 2016: a new emerging threat to controlling arboviral diseases. *Eurosurveillance*, 24 (5), 2019 (IF: 7.127)
2. Yamamoto T, Yatsushiro S, Hashimoto M, Kajimoto K, Ido Y, Abe K, Sofue, Y, Nonami T, Hayashi T, Nagatomi K, Minakawa N, Oka H, Mita T, Kataoka M. Development of a highly sensitive, quantitative, and rapid detection system for *Plasmodium falciparum*-infected red blood cells using a fluorescent blue-ray optical system. *Biosensors and bioelectronics*, 132, 375-381, 2019 (IF: 8.173)
3. Moyes CL, Wiebe A, Gleave K, Trett A, Hancock PA, Padonou GG, Chouaïbou MS, Sovi A, Abuelmaali SA, Ochomo E, Antonio-Nkondjio C, Dengela D, Kawada H, Dabire RK, Donnelly MJ, Mbogo C, Fornadel C, Coleman M. Analysis-ready datasets for insecticide resistance phenotype and genotype frequency in African malaria vectors. *Scientific Data*, 6 (121), 2019 (IF: 5.311)
4. Futami K, Iwashita H, Higa Y, Lutiali PA, Sonye GO, Mwatele C, Njenga SM, Minakawa N. Geographical distribution of *Aedes aegypti aegypti* and *Aedes aegypti formosus* (Diptera: Culicidae) in Kenya and environmental factors related to their relative abundance. *Journal of Medical Entomology*, doi: 10.1093/jme/tjz233.2019 (IF:1.907)
5. Toma T, Takara T, Miyagi I, Futami K. and Higa Y. Mosquitoes and frog-biting midges (Diptera: Culicidae and Corethrellidae) attracted to traps with natural frog calls and synthesized sounds at Iriomote Island, Ryukyu Archipelago, Japan. *Medical Entomology and Zoology*, 70 (4), 221-234, 2019 (IF:None)
6. Kawada H, Nakazawa S, Shimabukuro K, Ohashi K, Kambewa EA, Foster Pemba D. Effect of metofluthrin-impregnated spatial repellent devices in combination with new long-lasting insecticidal nets (Olyset® Plus) on pyrethroid-resistant malaria vectors and malaria prevalence - Field trial in south-eastern Malawi. *Japanese Journal of Infectious Diseases*, doi: 10.7883/yoken.JJID.2019.311. 2019 (IF: 1.004)

B 邦文

B-a

1. 砂原俊彦. 雨水枡への蚊絶滅マット（分別集水マット）の設置が蚊の個体群に与える影響. 衛生動物, 70 (3) 147-152, 2019 (IF: None)

B-c

1. 皆川昇：14章 ヒトマラリア昆虫を媒介するハマダラカの生態と蚊帳を使った対策（田村貞洋・佐藤宏明・足立太郎（編）：アフリカ昆虫学-生物多様性とエスノサイエンス, 海遊舎, pp205-216） 2019
2. 二見恭子: 15章 ネットイシマカの生態と進化（田村貞洋・佐藤宏明・足立太郎（編）：アフリカ昆虫学-生物多様性とエスノサイエンス, 海遊舎, pp220-233） 2019
3. 二見恭子：18章 長崎大学熱帯医学研究所ケニアプロジェクト拠点（田村貞洋・佐藤宏明・足立太郎（編）：アフリカ昆虫学-生物多様性とエスノサイエンス, 海遊舎, pp247-251） 2019

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
3	10	5	1	0	10

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
皆川昇・教授	幹事	日本衛生動物学会
皆川昇・教授	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部

皆川 昇・教授	日本 ICIPE 協会委員	日本衛生動物学会
皆川 昇・教授	評議員	日本熱帯医学会
川田均・准教授	支部長	日本衛生動物学会・南日本支部
川田均・准教授	殺虫剤研究班委員長	日本衛生動物学会
川田均・准教授	理事・評議員・編集委員	日本環境動物昆虫学会
川田均・准教授	Japanese Regional Director	The Asian Society for Vector Ecology and Mosquito Control
川田均・准教授	誘引吸血装置法による防蚊試験方法に関する国際標準化分科会委員長	日本化学繊維協会
川田均・准教授	誘引吸血装置法による試験方法に関する国際標準開発委員会委員	日本化学繊維協会
川田均・准教授	ISO TC38/WG29 "Textiles-Anti-mosquito performance test method - Contact repellency test method using the attractive blood-feeding apparatus" convenor (国際標準化機構 第38技術委員会 第29作業部会 議長)	国際標準化機構 (ISO)
砂原俊彦・助教	運営委員	日本衛生動物学会・南日本支部
砂原俊彦・助教	編集委員	日本熱帯医学会
角田隆・助教	編集委員	日本衛生動物学会
角田隆・助教	評議員	日本環境動物昆虫学会
二見恭子・助教	日本 ICIPE 協会委員	日本衛生動物学会
二見恭子・助教	庶務委員	日本衛生動物学会・南日本支部
二見恭子・助教	編集委員	日本衛生動物学会
胡錦萍・助教	第25期運営委員選挙管理委員	日本衛生動物学会・南日本支部

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
皆川昇・教授	独立行政法人科学技術振興機構	分担	科学研究費助成事業・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))：熱帯アフリカのマラリア撲滅に向けたアルテミシニンとイベルメクチンによる集団投薬
川田均・准教授	独立行政法人科学技術振興機構	分担	科学研究費助成事業・学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)：疾病媒介蚊の殺虫剤抵抗性獲得メカニズム解明
二見恭子・助教	独立行政法人科学技術振興機構	代表	科学研究費助成事業・学術研究助成基金助成金(基盤研究(C)(一般)：熱帯熱マラリアのダイナミクス～多様性は媒介蚊の多様性によって維持される？
皆川昇・教授 川田均・准教授 砂原俊彦・助教 二見恭子・助教	共同研究・住友化学株式会社	代表	殺虫剤デリバリー技術の野外評価系および半野外評価系の構築
川田均・准教授	共同研究・一般財団法人カケンテストセンター	代表	吸血昆虫の人工飼育方法の研究
川田均・准教授	共同研究・学校法人北里研究所・アース製薬株式会社	代表	感染症媒介蚊の防除方法の検討
川田均・准教授	共同研究・アース製薬株式会社	代表	忌避剤の蚊に及ぼす影響確認

川田均・准教授	共同研究・ライオン株式会社	代表	衣類への防蚊性付与技術の検討
二見恭子・助教 砂原俊彦・助教	熱帯医学研究拠点一般共同研究	分担	・長崎の野外捕集蚊の鳥マラリア感染状況の 解明と学生実習への利用
川田均・准教授	研究助成金・大下財団	代表	蚊あるいはヒトが放出する他感作物質の道 程とこれを母核とする新規忌避化合物の創 成

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
川田均・准教授	防虫ブロック	2006年 7月5日	2013年 5月13日	登録番号： 特許第5277399号
川田均・准教授	害虫防除ネット、害虫防除方法及び害虫防除ネ ットの設置方法	2011年 1月27日	2012年8月	特 願 2011-15340 WO 2012/1023440
川田均・准教授	防虫性試験装置および防虫性試験方法	2016年12 月27日	2017年9月 1日	特許第6200126号

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関 係 機 関 名
皆川昇・教授	非常勤講師（原虫寄生虫感染症コース）	大阪市立大学大学院医学研究科
胡錦萍・助教	非常勤講師（薬理学及び同実習）	長崎大学歯学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
砂原俊彦・助教	蚊から子どもを守る	チャイルドヘルス 特集・ 知っておきたい蚊とまだに が媒介する身近な感染症、 診断と治療社	2019年4月	子どもの保健と育児を支援する雑誌に て研究者の立場から国内外における感 染症の問題と防除対策について紹介し た。
皆川昇・教授	感染症から人びとを守る	Mundi	2019年8月	SATREPS「南部アフリカにおける気候 予測モデルをもとにした感染症流行の 早期警戒システムの構築プロジェクト」 に関する活動内容の紹介を行った。
砂原俊彦・助教	甘く見ると危険！蚊が媒 介する伝染病	公明新聞	2019年7月	疾病媒介蚊による感染症（マラリアやデ ング熱、ジカ熱など）を紹介するととも に防除対策の紹介を行った。
皆川昇・教授	日本の技術アフリカ貢献	読売新聞	2019年8月	アフリカ開発会議（TICAD）に向けて政 府が開設するHPで感染症対策のひとつ として長崎大と海洋研究開発機構が取 り組んだ降雨予報からマラリアを媒介 する蚊の発生を予測し流行を警戒する システムが紹介されるなど、政府が日本 の技術力を発展途上国に活用してもら う目的があることが紹介された。

川田均・准教授	侵入害虫に関するさらなる研究を	生活と環境： あかりまど	2019年9月	日本環境衛生センターが発行する隔月誌にて近年の気候変動とともに懸念される感染症への対応策として侵入害虫の生理や生態に関する基礎研究や防除法の研究および検疫システムの見直し等人為的手段の構築が急務であることを唱えた
---------	-----------------	-----------------	---------	--

学術賞受賞

氏名・職	賞の名称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
川田均・准教授	Outstanding Achievement Awards	The Asian Society of Vector Ecology and Mosquito Control	メトフルトリンのフィールドテストに関する論文への評価